



My Topics

エヌテックメンバーからの家づくりトピックス

『現場進捗状況』

土井長元気

工務部の土井長です。工事の進捗状況を報告いたします。前回報告しました新築3棟、大規模改修1棟のうち、新築1棟・大規模改修1棟が終了いたしました。新たに新築1棟・大規模改修1棟が進行しており、12月には更に新築2棟がスタートいたします。



西区で新築工事中のK様邸は外壁のガルバリウム施工と外部の木部塗装が完了いたしました。内部は木工事が終わり内装・設備・家具等の施工が進行中です。12月下旬の完成を目指しています。



そして、尾道市K様邸の外廻りは外壁の焼杉貼りを終えて、こちらは12月初めの足場解体に向け進んでいます。佐伯区で新築工事を行うK様邸は「地縄」が完了し、基礎工事中です。



五日市で進行中のM様邸改修工事は解体作業が完了致しました。続いて電気配線工事と設備配管工事が始まります。



『家守りはおまかせ下さい』

佛崎浩平

お客様サポートの佛崎です。寒くなりOM機器等が活躍する季節になりました。



ここ最近のOMソーラー設備で故障No.1は、空気の道を切り替えるダンパーモーターと呼ばれる部分です。『カチカチ』と、異音がある場合は、故障しています。ただ、OMソーラーの機械本体には3ヶ所（※ハンドリングのタイプによって異なります。）ダンパーモーターが取り付けられています。



どの個所の故障なのかは、現地にて動作確認等しなければなりません。「おかしいな」と思ったらご相談下さいませ。



さて、いつも家守りとしてメンテナンスや点検をさせていただいていますが、先日、近所の小学生が「地域のこども110番の家」として看板を掲げている弊社にお礼に来てくれました。「いつも見守ってくれてありがとうございます」とのお手紙もいただきました。「こども守り」としても地域に貢献できる会社であるよう、今後も努力していきたいと改めて感じました。



『「ki-bako」(木箱)のご紹介』

谷口護

設計担当の谷口です。現在、工事が進行している尾道市のK様邸をご紹介します。K様邸は2010年にGOOD DESIGN賞を受賞した「Ki-bako」(木箱)で建てられる家です。「ki-bako」は優良工務店9社により「地域の工務店」が「小さな家」で「コストも小さく」というコンセプトでつくる家として考案されたものです。もちろん「エヌテック」もその工務店の1社です！



また概念もシンプルです。「丈夫な外箱+パーツ+南の大きな窓+板をあしらった外壁+一本の樹」これが基本の形です。



尾道市のK様邸はエヌテックが携わる木箱の家です。床面積22坪弱のコンパクトなお住まいです。

2階部分が勾配天井のため平屋のように見える三角形のかたちをした外観となっています。また全面に焼杉を貼り、まさしく「木箱」。



南側の掃き出し窓には大きな屋根をたっぷりとかぶせました。周辺環境にフィットした佇まいに仕上がっています。



内部は中央の吹抜を通して上下階が繋がる一体感のある空間です。コンパクトながらも「質の高い家」であり、長期優良住宅適応レベルはもちろんのこと、耐震等級3をしっかりと確保した安心・安全仕様です。



「ki-bako」に興味のある方はお問い合わせください。かわいらしいパンフレットをお送りいたします。

『講演会を聞いて』

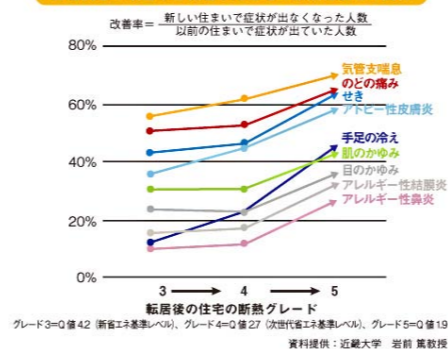
渡部 良佑

設計担当の渡部です。



11月は建築業界の様々なイベントがありました。11月13日(水)から15日(金)の3日間広島で開催されたJBN全国大会に参加し、分科会にて講演会を聞いてきました。もっとも興味深い内容として、住環境と健康の関係。何度見ても分かりやすく面白いグラフです。断熱向上による住環境の変化と疾患の関わりを表したものです。

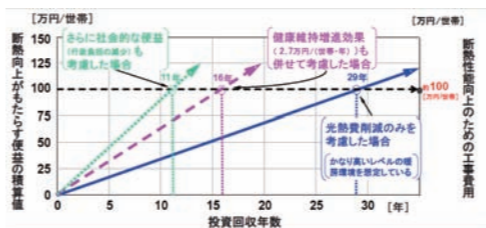
各種疾患の改善率と転居した住宅の断熱性能との関係



生活の仕方で変わってくると思いますが、建物の性能も大きく関わることは確かです。健康＝病院に行く回数が減る。ということにもなります。

もうひとつの例として見せて頂いたのが下のグラフです。

「断熱・気密化による健康効果」



断熱性能向上のための費用がどれくらいで元が取れるのか表したものです。青い線が光熱費の差のみで表したもので、ピンクの線が光熱費に合わせて、健康維持(通院にかかる費用等)の差も含めたものです。個人差はあるはずですが光熱費だけで見てしまうと約29年、健康維持増進効果を含めると約16年で断熱向上にかかった費用が回収出来るということです。健康である証明は難しいですが、通院にかかるはずだった費用の差がうまれてくるのは納得です。今後も講演会等で得た情報を皆様にお伝えしたいと思います。

今月のすてき、快適！

設計チーフ 松下 陽子



「SLEEP TRACKER (スリープトラッカー)」寒くなってくると朝あたたかい布団から出るのがツライのですが、起きないといけませんよね(笑)。目覚まし時計に起こされていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか？皆さんは、どんな目覚ましをお使いでしょうか？私は携帯を利用していますが、一度起きてまた寝入ってしまうこともままあり、心地良い目覚めとはいかない朝も多いです。超快適&ゼロエネ研究所としては、家での睡眠に対する研究も行っております。こちらの一目普通に見える腕時計は、「睡眠サイクル目覚まし時計」で、各人の睡眠状態を把握して起こしてくれる睡眠モニター付です。何でも睡眠が浅い時に起



きた方が目覚めはスッキリするらしく、目覚めに最適な睡眠状態の時を見計らって起こしてくれるというもの。睡眠は一律の状態ではなくリズムがあって深い眠りと浅い眠りを繰り返していることはご存知の方も多いと思います。「ぐっすり眠れた！」爽快感は一日を快適なものにしてくれますが、眠りだけでなく目覚めも快適に関係あったとは知りませんでした。普通の目覚ましと違い、セットした時間にアラームが鳴るのではなく、起きなければならない時間にセットしその時間周辺で睡眠の浅い時に起こしてくれるそうです。なので、寝坊の心配なし！ちょっといい値段ですが、特に健康意識の高い方、多忙な方に売れているそうですよ。

HP: <http://sleeptracker.jp/index.html>
写真のもので、19,980円(ネットから購入も可能)

快適を突き詰める

エヌテック代表 野坂和志



「温熱環境を考える」

「日本の気候にエアコンはマッチするか」今や家庭では一家に1台、どころか1部屋に1台となりつつあるエアコン＝夏はクーラー＝エアコンと頭に刷り込まれてしまっています。日本の夏は「高温・高湿」一方冬は「低温・低湿」に間違いはないですよ。ニューヨーク等は夏「高温・適湿」冬は「低温・適湿」なのです。実際に湿度差は50%以上もあると言われています。ですから空気の温度を暖めたり、冷やしたりするだけではなのです。湿度を同時にどう調整していくのかを考えないといけません。除湿と加湿を考えると

ということです。そのことに関しては、ダイキンの「うるさらセブン」や「デシカ」が画期的です。しかし、暖まりにくくて冷やしにくい空気からちょっと離れて違うものを暖め、冷やすことによって、とても快適な環境が実現出来ないのか考えることもこれからは大事なことだとも思います。冬の暖房方法はご存知のとおりたくさんの選択肢があります。でも、出来るだけ空気を動かすことの少ないほうが快適に感じられるようです。ダルマストーブ(懐かしい)や薪や灯油のストーブ等がその典型です。放射式暖房は空気自体を動かすことなくとても質の良い方法です。しかし燃焼してその炎で空気を温めると酸素を燃焼し部屋の空気を汚してしまいます。問題は、今ややり過ごすことの出来なくなってきた夏の猛暑です。それと同じく梅雨から初秋にかけての多湿。これをなんとか解決していかないと室内の「超快適」には近づく事など土台無理な話になりそうです。少しづつ皆さんと「温熱環境」を一緒に考えて行きたいと思います。(つづく)

event news

2013年12月イベントのお知らせ

- 「完成見学会（西区山手町）」
 - 「初めての家づくり教室（ハツイエセミナー）」
 - 「光冷暖（ひかりれいだん）体感会」
 - 「キンカンの工作室ミニチュア制作」
- の4つを開催します。

月	火	水	木	金	土	日
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14 定期点検 (中区・西区・大竹・福山)	15 ハツイエセミナー 光冷暖体感会
16	17	18	19	20	21 キンカンの工作室 ミニチュア制作 教室	22
23 完成見学会 (西区山手町)	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

誠に勝手ながら年末年始の休業とさせていただきます。
(緊急連絡先: 080-4423-3112)

『SE 構法+ゼロエネ住宅 完成見学会』

- 開催日: 12月23日(月)
- 開催時間: 午前10時~午後4時
- 場所: 広島市西区山手町
- 事前にご予約をお願い致します。

<kunugi001 西区>
=様の家(kunugihouse)は、エヌテックがご提案する高性能高耐久躯体+ゼロエネルギーもしくは快適設備を備えた家です。
①Q値が1.9~1.6W/m²K、μ値が0.03以下の性能を有すること
②年間消費エネルギーが40GJ以下であること(ゼロエネルギーも含む)
③1年を通して「快適」であるよう設定されていること(+快適設備)
を満す家づくりを指します。
K様邸※は、様の家1号となる、高性能省エネ+快適な家です。
超多忙なご家族にとって、家はどこよりも

安らげる場所となって欲しい。そんな想いを形にしました。
寒い朝、ほんのり温かい。猛暑の夏、日射を遮り通り抜ける風で涼やかさを得る。差し込む陽光で明るい。これらは高性能な躯体をベースにした自然を最大限利用したパッシブデザイン※の設計手法で得る快適さです。太田川を望む開放的な窓はSE構法だから実現したもの。
家は家族の暮らしを支え、元気を作る場所となります。広々空間を元気に走りまわると子供たちの声が聞こえるのももうすぐです。



※K様邸概要: SE構法=耐震等級3(最高等級) Q値=1.9W/m²K μ値=0.034 長期優良住宅認定取得済
※パッシブデザイン:そこにある自然を読みとり、熱・光・風などを取り込んだり遮ったりする建築的な工夫により、本質的な心地よさを作り出し、エネルギー削減にも寄与する設計手法のこと。

『初めての家づくり教室』

- 開催日: 12月15日(日)
- 開催時間: 午後2時~4時
- 場所: Gallery 様(エヌテック事務所隣)
- 事前にご予約をお願い致します。

あなたが家づくりを始めるにあたって、是非知っておいていただきたい内容を集めたセミナーを開催いたします。
家づくりは本当に高価で一生に一度の大きな買い物であるにもかかわらず建ててから「失敗した」や、「後悔している」と感じている人が大変多いからです。
・日本に住んでいる私たちが絶対に知っておくべきこと
・一生快適で、光熱費一生ゼロの夢の家のつくりかた
・「今、太陽光パネルをつけておけば安心」の落とし穴
・「一流ハウスメーカーだから安心に違いない」の罠
・耐震等級3以上をなぜクリアしなければならないのか?
など家づくりを始める前に知っておいていただきたいことばかりです。
限定5組(申し込み順)となっております。



【イベントへのご参加方法】

- 事前のご予約が必要な場合、下記のいずれかにてお申し込みをお願い致します。
- ・弊社ホームページのフォーム (URL <http://www.ntecj.co.jp/>)
 - ・エヌテック代表メール (info@ntecj.co.jp)
 - ・エヌテックへのお電話 (082-509-5771) 担当: 佛崎(ぶつざき)・松下まで

『キンカンの工作室ミニチュア制作』12月は子供向け教室を開催いたします!

「キンカンの工作室」こと、^{はぎやみき}萩谷幹先生によるミニチュア制作教室。12月第9回は12月21日(土)の学校がお休みの日に開催です。お正月に向けた作品として、ミニチュア鏡餅と書初めにチャレンジです。
お子様にはちいさなお餅をコネたり、ちいさな掛け軸に来年の抱負など思い思いの言葉を書初めにしてもらいます。
まずはエヌテックまで参加希望のご連絡をお願いいたします。

キンカンの工作室ミニチュア制作教室
第9回: 12月21日(土) 午前10時~12時
料金: 1,500円/1名(材料代・講習料込)
制作品: 鏡餅と書初め
場所: Gallery「様」(エヌテック事務所横)
※制作品の画像は準備ができ次第、エヌテックHPに掲載いたします。
※先着8名様限定です。
※駐車場がありませんので、お近くの100円パーキングをご利用下さい。
※当日制作した作品はお持ち帰りいただけます。

※まちはイルミネーションで一色です※
11月はクリスマスツリーを制作しました。



(注)クリスマスツリー制作は終了しております。

超快適 & ゼロエネ研究所 通信 vol.10 DEC. 2013

株式会社エヌテック
〒733-0007

広島市西区大宮 2-13-7
TEL:082-509-5771 FAX:082-509-5772
E-mail:info@ntecj.co.jp
HP:<http://www.ntecj.co.jp>



超・快適への道「快適は“質”の時代へ」③

「快適空間の質を考える、その3」

適切な快適空間の作り方についてですが、「建築(設計&施工)+「設備」で作ります。余談ですが、無暖房無冷房(暖房冷房機器無しで過ごせる室内空間)は出来ませんか?と聞かれることもあります。季節があつて外の気温と湿度が変化する以上無理です、とハッキリ申し上げます(笑)。
何故なのかはまた別途詳しくご説明すると、先ず建物はどういう周辺環境に存在することになるのかが重要です。建築物に影響を与える因子は環境によって違います。街中でビルなどと一緒に存在するケースと、

田園地帯や山中では条件が違います。また、居住されるご家族の人数、暮らしの様子、体調、ご希望の状態(暑がり寒がり、風が嫌い、匂いに敏感など)も関係があります。詳しくヒアリングをすることにより、ご家族に適切な建物性能と設備を考えます。なので、建物の目標「スペック」を正しく設定し、正しく作れることが大前提となります。
車が分かりやすいと思いますが、スペックを見ると燃費だけでなく走りの具合まで大体分かりますよね。建築物もそれと同じで、目標とするスペックを定めることで室内の温度や消費エネルギーがどの程度になるか

大体分かるのです。これまで「湿度」設定は難しかったのですが、画期的な設備機器が登場し湿度を(かなりの精度で)コントロールできるようになりました。「バランスが取れた高性能な建築」+「希望に近い状態を作り出せる設備機器」のコンビネーションが、「超快適!空間」を作り出すのです。
何となくこんな感じかな〜、はダメなんです。やはり車と同じく“数値”を求めてこそ望む快適さは実現できます。では、その数値の求め方、目標の定め方を次回お伝えしたいと思います。

風もなく、音もなく。放射による冷暖房=『光冷暖』体感会開催

『光冷暖 体感会』

- 開催日: 12月15日(日)
- 開催時間: 午後5時~7時
- 場所: Gallery 様(エヌテック事務所隣)
- 事前にご予約をお願い致します。

冬の暖、夏の涼を得る手段として、皆さんは何がお好きですか?

エアコン(冷暖房)、扇風機、薪やペレットストーブ、ファンヒーター、灯油やガスのストーブ。いろいろな手法や設備がある中で、

「家中ムラなく」「風を起さず」
「湿度が適切な」

冷暖房は難しく、実現には多大な設備コストが掛るだけでなく、ランニングコストも大きく現実的ではありませんでした。家中どこへ

行っても床から天井まで涼しく暖かく、風も来ず、ムシムシせず乾燥し過ぎず、嫌な匂いもなく、小さな子供がいても危険もない冷暖房。そんなことが実現出来たら…。
「光冷暖(ひかりれいだん)」は、求めてきた快適空間作りに対するひとつの答えです。
ラジエーター表面と内装に使用された同じ特殊セラミック(同一物質)により、同じ波長の遠赤外線の放射・吸収・再放射が効率よく行われることで、壁・天井が冷暖房機器となる、全く新しい冷暖房設備です(特許取得)。特殊セラミックを内装材に使用する事で、格段に少ない台数で家中ムラのない温熱環境が実現できます。

「風もなく、音もなく、家中が、
床から天井までムラのない温熱環境」
これが、いかに体に優しく、ストレスがなく、

心地良い空間であるか。これは、言葉では正しく表現することはできません。高性能躯体+「光冷暖」が作り出す適切で一年中快適な温熱環境は、もはや贅沢などではなく、よりクオリティの高い空間の希求、創造であり、ご家族様はもとよりご自分への「健康」に対する投資と言って良いのではないのでしょうか。ぜひ、一度「様」でご自分で体感を頂き、「放射暖房」の実際をお確かめ下さい。

「光冷暖」光熱費レポート

「様」では2台の光冷暖がタイマーによる自動運転により、毎日午前7時から午後8時30分(13.5時間)稼働しています。
光冷暖のリモコンに表示される光熱費によると81日間使用でトータル9,100円。1日に換算すると1日約112円となりました。

